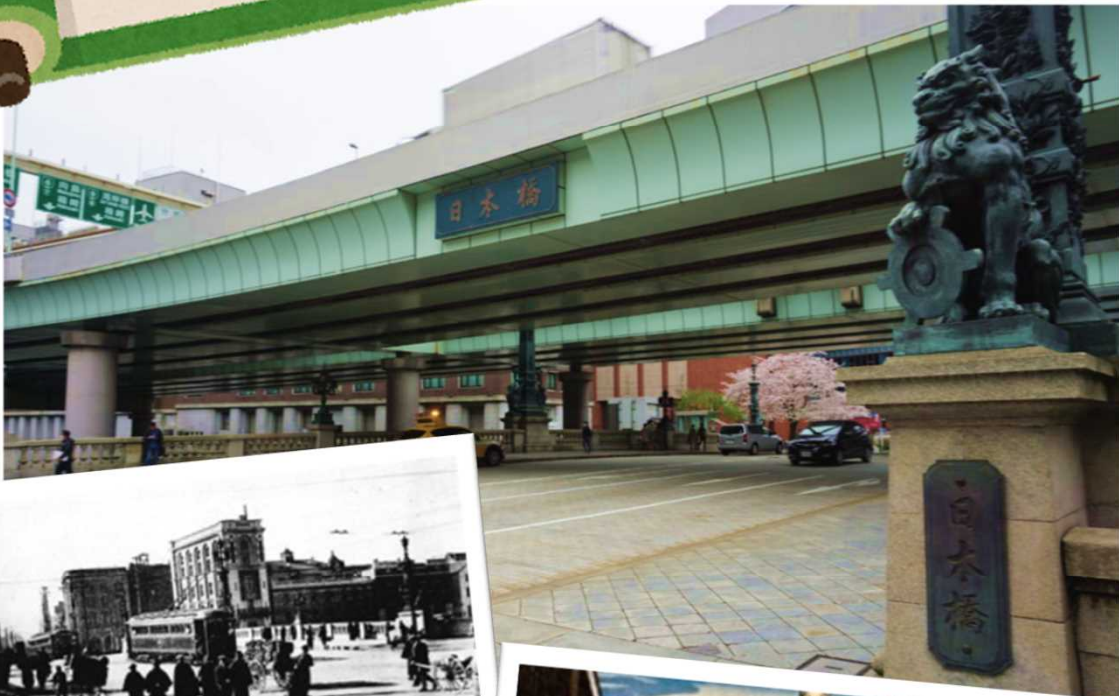


いざ! 江戸街道
プロジェクト



関東運輸局

Kanto District Transport Bureau



江戸街道プロジェクトとは？

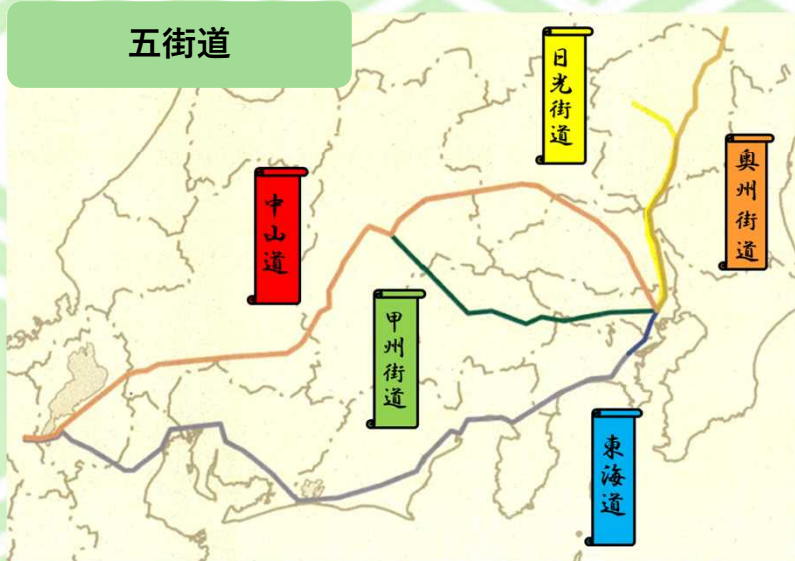
江戸時代の創成期に徳川家康が交通の要所として整備に取り組んだ、日本橋を起点とする「東海道」「甲州街道」「中山道」「日光街道」「奥州街道」の通称“五街道”と、その“脇往還”として整備された「水戸街道」や「成田街道」など。

関東運輸局では、これらを含めた広域関東エリア*1の街道沿いに散らばる魅力的なコンテンツを、『江戸街道』という統一テーマにより新たにブランディングをはかります。

本プロジェクトは、官民一体となって広域関東の魅力を国内外へ発信し、コロナ禍で疲弊した地域に元気を取り戻すための新しい試みです。

*1 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県

五街道



脇往還



なぜ街道なのか？取り組むメリットはいかに？

地域ネットワークの構築ができる！

「街道」という統一テーマのもと、行政、民間事業者、住民の皆さまが一体となり、連携した地域ネットワークの構築を図ることができます。

経済の活性化に繋がる！

地域住民との交流を通して、地域の産業や文化、食、自然等に接する「体験」の機会を増やすことで、旅行者によるSNS等での情報拡散も期待できます。交流人口が増えることで、さらなる地域経済の活性化に繋がります。

幅広い連携を生み出せる！

自治体の境界を越えた広域での取組が可能となるため、各地域がお互いに観光地としての強みを引き出しながら、足りないものを補うことができます。江戸街道は、JR等の鉄道路線や主要道路等に沿っているものが多いことから、旅行者の動線に合わせた関係者間の連携が取りやすくなります。

人 街道沿いを巡り、魅力を再発見！

「地域の魅力をもっと発信したい！」「地域に活気を取り戻したい！」江戸街道プロジェクトは、そんな皆さんの想いに応えていきます。

各地域に滞在し、周遊し、遊んで、学んで、癒やされて。地域の枠を超え、エリアの魅力を十分に満喫してもらうための仕組み作りに取り組んで参ります。

既存のコンテンツを磨き上げるもよし。新規のコンテンツで新たな集客を目指すもよし。本プロジェクトを活用していただき、街にふたたび賑わいを取り戻します。



人 たとえばこんな切り口 (商品化のイメージ)

宿場



(写真提供:大内宿観光協会)

街道にふれる

歴史



(写真提供:日光東照宮)

街道をまなぶ

温泉



街道でなごむ

食



街道を味わう

人 取組スケジュール・内容

3ヶ年計画で、

調査 → **ブランディング** (プラットフォーム開発) → 地域での**本格導入** を目指します。

2022

調査

- 有識者会議
- シンポジウム
- 調査事業 (実施中)
- *事例調査、ニーズ調査等

2023

実証

- プラットフォーム整備
- キャッチコピー/ロゴ開発
- 実証事業

2024

事業化

- 地域での企画、商品化
- ⇒自走へ

人 主役は地域の皆さまです！

“道” はすべての自治体の枠を超えて繋がっています。そこには歴史や文化、自然、食、温泉など、魅力的な観光資源が点在しており、その“道” が旅行者と地域を繋ぎ、そして人々の心を繋いでいます。

このプロジェクトは、地域の皆さまに街道観光を推進していただくことを目的としており、関東運輸局は、その活動の道標をお示しできるよう、取組んで参ります。

人 有識者からの一言



箱根八里街道観光推進協議会副会長
NPO法人全国街道交流会議代表理事
藤本 貴也 氏

江戸時代は、世界的にも例のない、二百数十年にわたる戦争のない平和な時代を実現した。その賜物として、文化・芸術・科学技術等の様々な分野で、世界のトップレベルと比べても遜色のない、独自の誇るべき時代を築いた。日本の精神構造のルーツを形成した奈良時代と共に、日本のアイデンティティーの形成に重要な役割を果たした江戸時代。その中心であった五街道や脇往還を訪ね、日本再発見の旅に出ようではありませんか。

人 プロジェクトの最新トピックス



令和5年度

江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議



プロジェクトの更なる推進のため、「江戸街道プロジェクト有識者会議」を発展的に組織変更し、観光や街道に関する知識と経験のある方々をお迎えして「江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議」を新たに設置しました。

当会議では、「江戸街道プロジェクト推進ビジョン2023」に基づき、広域関東における街道観光推進のための施策を含むプロジェクト全体について検討し、観光立国推進基本計画の3つのキーワードである「持続可能な観光」・「消費額拡大」・「地方誘客促進」に留意しつつ、今後の効果的な事業展開につなげて参ります。

顧問 谷口 博昭
(一財)建設業技術者センター 理事長

委員 石田 東生
筑波大学 名誉教授

高橋 佑司
(株)リクルート地域創造部 部長

山崎 まゆみ
跡見学園女子大学 兼任講師

古賀 方子
(特非)全国街道交流会議 専務理事

小堀 明夫
(一社)関東広域観光機構 専務理事

関東運輸局長

丁野 朗
(公社)日本観光振興協会総合研究所 顧問

宮崎 俊哉
(株)三菱総合研究所 主席研究員

ルース・マリー・ジャーマン
実業家

土屋 武司
足立成和信用金庫 理事長

井上 成美
(一社)日本ウォーキング協会 事業統括専務理事



プロジェクトHP (シンポジウム映像)

Facebook

リンク



製作：国土交通省 関東運輸局観光部

2023. 6月版